県南教育事務所
教　育　情　報

南風 nanpu

平成２８年１２月１５日（木）
No. １１【 通刊 第102号 】
文責：佐　藤　克　洋

２学期の総合訪問を振り返って

一人一人の子どもを大切にする教育活動を！

今回は、２学期に実施された、３校の教育活動の様子について、ご紹介します。
他校の教育活動の特色や工夫点を知ることで、お互いに高め合うことができれば幸いです。

奥州市立佐倉河小学校

「子どもたちが学校は楽しいと思える学校」「家庭や地域の方々に信頼される学校」を掲げ、「知・徳・体」バランスのとれた児童を育てるために全職員が一丸となって取り組んでいます。

●知「学ぶ力」をつける

ねらいが明確な授業（学習課題の明示）、何を学んだかがわかる授業（まとめや振り返りの重視）を展開し、主体的学習に取り組んでいます。また、５校時の授業前に週４回１５分間のスキルアップタイム（のびやかタイム）を設け、基礎基本の定着を図っています。

●徳「思いやりの力」をつける

全校児童と祖父母との交流学習など、地域の方々の協力を得ながら様々な体験活動の場を設定しています。また、児童会活動と連携した「４あ運動（挨拶・合図・歩き方・後始末）」や読み聞かせ、復興の日などを設定し、情操教育の充実にあたっています。

●体「心も体も健康になるための体力」をつける

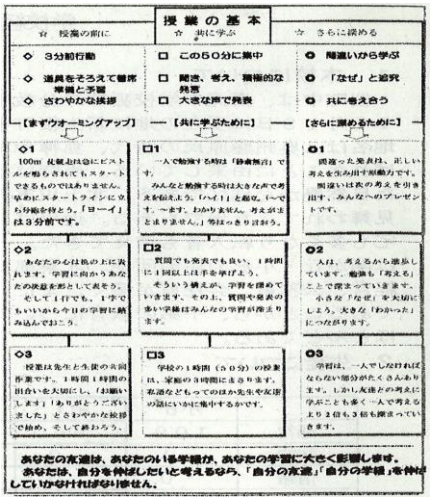
週２回の朝運動（マラソン、縄跳び）に加え、食や睡眠など生活習慣作りにも力を入れ、児童や家庭への啓発を行っています。

一関市立桜町中学校

生徒の実態を的確に把握し、教職員の組織的、協働的経営のもとに、日常の実践を積み上げ、学校教育目標の達成に努め、保護者の信託に応えるよう取り組んでいます。

●「授業の基本」の実践

３分前行動と３分前学習、授業準備、学び方、学習意欲の喚起など、生徒と教師の共同の授業づくりを意識して取り組んでいます。



●生徒会スローガン「優輝～共に羽ばたこう！明るい未来へ～」

３年生、生徒会が中心になり「当たり前のことを当たり前にできる生徒」をモットーに挨拶や掃除、合唱活動、生徒会活動に熱心に取り組んでいます。また、生徒の主体性を育てるために、判断を任せる場面を意図的に仕組んでいます。事前に職員全体で共通理解と共通行動を確認し取り組むことで、学校としてぶれない指導を徹底しています。

一関市立舞川中学校

生徒と教師が本音で話し、心通わせている様子が伺えました。「師弟同行」「凡事徹底」「和顔愛語」「率先垂範」を４つの合言葉として、全職員で教育活動に取り組んでいます。

●ユニバーサルデザインの実践

学校や教室の環境づくり、授業づくり、安心して学べる仲間づくりなど、全ての生徒の指導に生かす視点でユニバーサルデザインの実践に取り組んでいます。授業においては学習意欲や集中力の向上が見られ、成果が着実に表れています。

●生徒指導の改善

スクールカウンセラーの活用（個別カウンセリングの実施）と生活悩み事アンケートの実施回数（奇数月に実施）について見直しを図りました。予防的な指導を意識し、より多くの視点で生徒を見ていく取組が行われ、子どもたちが充実した学校生活を送ることにつながっています。

●地域に根ざした教育

地域のために行う「５３０（ごみゼロ）運動」や介護施設訪問などのボランティア活動を積極的・継続的に行うとともに、地区民運動会への全員参加や伝統芸能の継承など、「地域に生き、地域に活かされる舞中生」として活動しています。